



## 自転車交通安全教室実施

5月23日(火)5・6校時に全校で自転車交通安全教室を開きました。あずま中は自転車で登下校する生徒がほとんどです。そして毎年、自転車や自動車、歩行者と接触したり、転倒してけがをしたりする事故が発生しています。自転車交通安全教室では、警察の方の講話の後、スタントマンが実際に自転車が自動車とぶつかる状況等を再現し、安全な自転車の乗り方について考えました。このことを通して、生徒が、自転車は危険な道具であり、日々危機意識を持ち利用してもらえたらと思います。



生徒を使った内輪差の実験の様子

自動車と自転車の衝突の実験の様子

### 【生徒の感想】

- 私は小学校の頃一度自動車にひかれたことがあり、打ち所が悪かったら後遺症が残っていたり、死んでいたかもしれない、それ以後気をつけているつもりでした。だけど、横断歩道はいつもぎりぎりだったり、学校に遅れそうなときは少し飛ばしたり、右側を走ったり、並列走行もしていることがありました。今度からはそういう違反をしないように気をつけようと思いました。
- 交通事故は見たことがないので、今までは他人事だと思っていました。でも、今回実際に事故を間近で見て、自分にも起こりうるのだと恐怖を感じました。今日学んだことをこれからは生かしたいです。
- 私は、今日の交通安全教室を見て、事故はとても恐ろしいことだと改めて思い知らされました。スタントマンが実際に再現してくださったので、テレビやDVDを見ているときよりも現実味がありました。もし、事故が起こったらと考えると、自転車に乗るときには特に周囲の確認に気をつけようと思いました。
- 交通安全教室を見て、自転車は被害者にも加害者にもなる乗り物だということが分かった。だから、今後はしっかりとルールを守り安全に利用したいと思った。
- 「出会い頭」という言葉をたくさん聞きました。自分でも知っているつもりでしたが、少しの「まあいいか」「大丈夫だろう」が大変なことになるのだなととても思いました。
- 前までは少し自動車が近くに来て、これくらいなら渡って大丈夫だろうと軽い気持ちで道路を横断していました。実際に事故の衝撃などを見て、とても怖いと感じました。

# あずま中学校の交通安全への取り組み

あずま中学校では、紹介した「自転車交通安全教室」以外にも、日常の中で様々な安全に対する取り組みを行っています。ここでは、その一部を紹介します。



安全委員が交通安全ポスターを制作して掲示しています

安全委員が当番制で駐輪場の整備や整頓を進めています



危険箇所を写真付きで提示し、注意を呼びかけています

安全委員が全校一斉の自転車点検を行っています



歩道を走行するときは「歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行」が正解。

全校集会で交通安全検定11を実施しています

看板等を設置して啓発活動を行っています

あずま中学校では、生徒が安全に登下校する努力を最大限に行っています。保護者の方もお子さんの安全な登下校にご協力をお願いします。

- ◆自動車だけでなく、小学生などの歩行者や高校生等の自転車にも十分注意して運転しよう。特に朝はみんな急いでいてとても危険です。
- ◆交差点ではかならず一時停止と安全確認をしよう。飛び出しはとても危険です。
- ◆並列走行や斜め横断、二人乗り、無灯火、一時不停止などの危険な運転はしない。
- ◆ルール違反を注意されたらきちんと謝罪しよう。軽い事故でも必ず先生に報告する。